

村上蔵王町長からのミッションにより、7月10日、遠刈田小学校16名の児童は外国人が数多く訪れる『えぼしスキー場』に伺い、現地を見学しながら、スキー場の悩みについて調査を行いました。

今回の授業は『えぼしスキー場』常務取締役 田村 芳春さんよりスキー場設備の案内、職員の安全への取組、災害時の悩みについて説明がありました。。

どうやって伝えればいいのか!? 考えてみよう!!

「危ない」「危ない」だけではなく、あわてないで、落ち着いて行動してもらうためにはどんなことをどんなふうに伝えたらいいのか？

これをみなさんで考えてもらいたいと思っています。と、田村常務よりお願いがありました。



スキー場からのお願いを聞き入る児童たち。



『えぼしスキー場』常務取締役 田村 芳春さん

どこに何があるのだろうか？施設探検。



田村常務の案内でレンタルショップやゴンドラ発着場などを見学

御釜はえぼしスキー場のどの方向だろう？

ゴンドラで中腹の展望台まで上がり、御釜や濁川、澄川の位置関係を学び、どのような災害が予想されるか、どんな対応が望ましいかを考えてみました。



まとめ～どこに、なにを、どうするか？～

いろいろとスキー場の方からお話を聞き、施設を見学したことで、自分たちで出来る事をまとめてみました。



次の学習では「どこに、なにを、どうするか？」を具体的にまとめていきます。

この取組は2019年度みちのく国づくり支援事業（公益事業）の助成を受け実施されています。
お問い合わせ先：蔵王町環境政策課 松田 0224-33-3007